

## 令和8年度第1回宮崎県職業能力開発審議会 議事概要

### 1 開催日時

令和8年5月26日（火）午後2時から午後3時15分まで

### 2 場所

県庁本館講堂

### 3 出席者（名簿順）

湯地委員（会長）、中原委員、西府委員、小屋敷委員、山腰委員、古川委員、錦井委員、鎌田委員、河野洋一委員、河野昌弘委員、鶴本委員、大崎特別委員、向田特別委員、児玉特別委員、事務局（雇用労働政策課）、関係機関等

### 4 議事

- (1) 第12次宮崎県職業能力開発計画の策定について
- (2) 第12次計画の骨子案について
- (3) 基本的施策の基礎資料について

### 5 議事の内容

#### (1) 第12次宮崎県職業能力開発計画の策定について

計画策定のスケジュールについて、関連計画（県総合計画等）との整合性を図るため、当初予定より素案作成の期間を延長する旨が事務局より説明された。

**主な発言：**特になし。

**決定事項：**提示された変更スケジュール案を進めることを承認した。

#### (2) 第12次計画の骨子案について

第11次計画からの変更点（柱の構成順序の入れ替えや文言修正等）および全体構成案について事務局より説明された。特に「多様な人材の活躍促進」と「キャリア形成の推進」の重要性や、産業構造の変化への対応が強調された。

**主な発言：**「人にしかできない分野を担う人材」の項目が、DX推進の柱に含まれることに違和感があるとの意見があり、他項目への再考が求められた。

**決定事項：**骨子案をベースに計画作成を進めることを承認した。なお、意見のあった構成については事務局で再検討することとされ、多様な人材の活躍促進の柱へ移動することとした。

### (3) 基本的施策の基礎資料について

多様な人材の活躍促進、デジタル化・DX推進による生産性向上、技能の振興と継承等の各項目について、現行の実績を基にした現状と課題の共有が行われた。

#### 主な発言：

(若年・女性のキャリア形成)：県外流出の防止やキャリア形成支援が重要。ジェンダーギャップの解消など、家庭環境を含めた多角的な視点が必要である。

(DXと人材育成)：デジタル人材と現業職（人にしかできない仕事）の育成のバランスが重要。デジタルやAI等の進展によって、将来的に人に取って代わられる仕事が生じる可能性にも留意が必要である。

(施策の評価)：過去の取組の経年変化や効果検証を行い、次期計画ではメリハリのある戦略を立てるべきである。

(技能士の地位向上)：技能士資格が企業の評価や点数に結びつくような仕組みが必要である。

(進路指導)：中学生の進路指導段階において、専門教育の価値が十分に伝わっていない可能性がある。親世代へのアピールも必要である。

**決定事項**：委員から出された意見や検討課題（効果検証、KPIの設定など）を整理し、素案作成に反映させていく。